

平成25年度

内部被ばく(ホールボディカウンタ)検査について

市では、福島第一原子力発電所事故の影響による内部被ばくに対し、ホールボディカウンタ検査を18歳以下の子どもたちを対象に実施しています。

検査初年度となる昨年度は、4歳から中学校3年生の検査を行いました。今年度は、4歳になったお子さんと高校2年生・3年生を

対象に実施します。

検査の意味

平成23年3月の事故の初期被ばく検査ではなく、定期的に放射性セシウムを食べ続けているかどうかの検査です。食事からの内部被ばくの影響を見ます。



内部被ばく検査前の測定

平成25年度対象者

【対象者①】

4歳児(平成20年4月2日～平成21年4月1日生まれ)と保護者

小さなお子さんは代謝が良いので、同じ食事を取っている家族の場合、親の方が放射性セシウムが検出されやすいといわれています。そのため親子一緒に受けることをお勧めします。

【対象者②】

高校2年生・3年生(平成7年4月2日～平成9年4月1日生まれ)

【対象者③】

上記以外で内部被ばくに不安を抱えている市民(19歳以上)、平成24年度対象者で未実施者

申し込み方法

【対象者①】

各保育園・幼稚園を通し配布・回収を行います。市内に通園されていない方には郵送します。

4月中旬：案内と申込書を対象者全員に配布します。

6月上旬：受検希望者に受診券をお渡しします。

【対象者②】

4月中旬：案内と申込書を対象者全員に個別郵送します。

5月中旬：期日までに受検希望者は市にお申し込みください。

6月上旬：受検希望者に受診券をお送りします。

【対象者③】

随時：1. 放射能対策室窓口でお申し込みください。受診券などをお渡しします。

2. 検査実施機関に電話をし、受検日を決めていただきます(受検日は下記に限りません。必ず最初に市にお申し込みください)。

検査実施日程

7月から11月の土曜日および夏休み23日間

7/6(土)・13(土)・20(土)
8/1(木)・3(土)・6(火)・8(木)・10日(土)・17(土)・24(土)・28(水)・31(土)
9/7(土)・14(土)・21(土)・28(土)
10/5(土)・12(土)・19(土)・26(土)
11/2(土)・9(土)・16(土)

※市が指定した日に受検をお願いします。行事などを考慮し、園・学校ごとに同じ日に受検できるよう調整します。

検査実施機関 公益財団法人 震災復興支援放射能対策研究所

(住所 福島県石川郡平田村上蓬田字大隅30 ☎0120-06-4771)

※牛久から片道190km、車で2時間30分程度(磐越自動車道小野IC下車)。

交通手段について

【対象者①・②】…市が用意したバスで送迎 【対象者③】…各自(マイカーなど)で移動

※日程および交通手段などに不都合がある場合は、放射能対策室までご相談ください。

放射能対策室だより



検査方法

ホールボディカウンタ検査機器の中に、2分間動かず立って測定します(左写真)。レントゲン検査ではないので、妊婦さんでも測定可能な機器です。

【測定機器】

立位型ホールボディカウンタキャンベラ社製 FASTSCAN2251型

【平成24年度検査結果】

7,468人受検(受検率83.4%)
受検者全員が放射性セシウム「不検出」

内部被ばく検査(ホールボディカウンタ検査) Q & A

Q なぜ福島県まで検査を受けに行くの？

A 県内には17台のホールボディカウンタ検査機器がありますが、どこも一般の検査受け入れはありません。今回の検査実施機関である震災復興支援放射能対策研究所は「放射線内部被ばくなどについての心配を乗り越えることが心身への健康へとつながり、ひいては災害復興に貢献できる」とのボランティア精神で無料で検査を行っています。また、機器の調整や管理がしっかりしており、結果についても福島県立医科大学と連携をとっています。

Q 福島県の放射線量は大丈夫？

A 震災復興支援放射能対策研究所周辺の空間線量は1時間当たり0.08マイクロシーベルト程度(平成25年1月15日現在、場所:道の駅ひらた)であり、国の基準の1時間当たり0.23マイクロシーベルトを下回っています。

Q 放射性セシウムが検出されたらどうするの？

A およそ3カ月後に再検査を行い、放射性セシウムの状況を確認します。さらに放射性セシウムを含むどのような食品を摂取したのかを探り、今後の予防につなげていきます。

Q 検出限界値が1身体当たり300ベクレルで大丈夫なの？

A 例えば、3歳から8歳くらいまでの方が仮に300ベクレル体の中にあつたとすると、1年間の実効線量はおよそ0.04ミリシーベルトです。国の食品安全委員会が目標とした1年間当たりの食品由来の内部被ばくが1ミリシーベルトですから、その25分の1ぐらいになります。

放射線量測定器の貸し出しをご利用ください。

市では放射線量を測定することで、目に見えない放射線を数値で知り、安心した生活空間の確保に役立てていただくため、放射線量測定器の貸し出しを行っています。貸出時間は半日から1日単位で行っていますので、あらかじめ電話でお申し込みください。土・日曜日、祝日の貸し出しも行っていきます。屋外の測定に加え、寝室や子ども部屋など生活時間の長い室内も測定することをお勧めします。

1. 対象者 市内に在住で20歳以上の方
2. 貸出器 環境放射線モニタ PA-1000Radi (堀場製作所)
3. 貸出料 無料
4. 貸出場所 環境政策課(市役所本庁舎3階)※閉庁日の貸し出しは、下記で手続きを行います。

【土・日曜日】…総合窓口課(本庁舎2階) 【祝日】…日直(本庁舎1階)

5. 貸出時間 午前(午前8時30分～正午)または午後(午後1時～4時30分)の半日ごと、または1日単位でご利用ください。

問 環境政策課 ☎内線1561～1563



貸出器：環境放射線モニタ PA-1000Radi